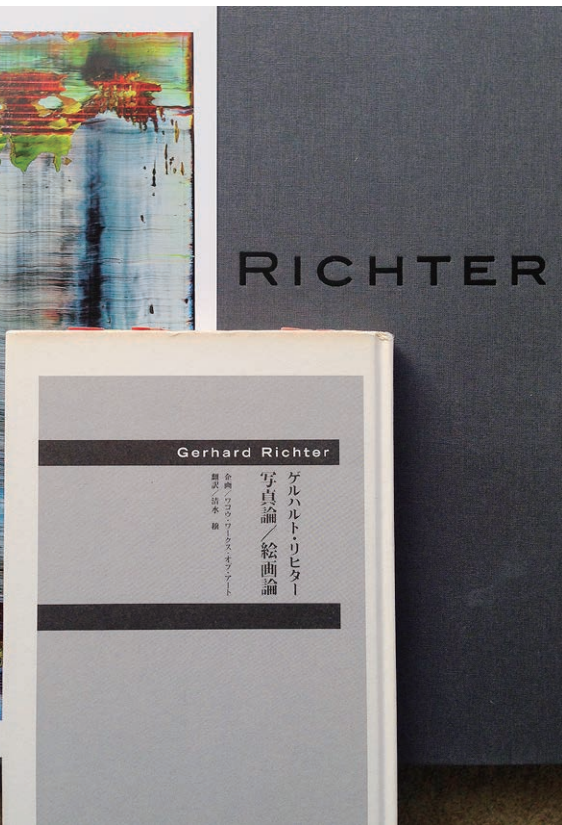


反復する写真と絵画



日時：2020年1月18日(土) 17:00-19:00

定員：10名(予約制)

参加費：1,500円(青森のりんごジュース付)

講師：先間康博(写真家)

会場：GALLERY CAPTION(岐阜市玉姓町3-12 / tel 058-265-2336)

第15回目となる今回は、現代を代表する画家のゲルハルト・リヒターを中心として、今日の絵画の世界から見える写真の姿を追うという試みである。リヒターは、その主なキャリアを、写真を描き写すフォト・ペインティングから始めた。描く時、自分の意志で動いてしまうことから逃れ、写っているものをただ引き受けることで、自らの真の自由を取り戻すために写真を用いたという。それは、写真というものを体感として吸収し、リヒターそのものが“写真”と化すことのようにも思う。だからこそ、それらの絵画は、それほどリアルなものでもなくとも、どこか写真というものを感ぜずにはおれないのではないだろうか。このことは、リヒターがアブストラクト・ペインティングという対象の無い抽象絵画に移行した後であっても、印象は変わらない。

思えば、絵画は見ることから始まり、それを描き写すものである。写真もまた、描くことはないとはいえ、見て、写す。その、どこか同じで、どこかが異なる二人。その狭間を往還しながら、絵画というものを追求し続けるリヒター。そんな彼の姿を中心に、絵画の世界を追うことは、絵画としてだけでなく、写真というものを考える上でもまた、とても大切なことではないだろうか。

先間康博(写真家)

先間康博(さきまやすひろ)

1966年福岡市生まれ。1998年名古屋大学理学研究科宇宙物理学専攻博士課程満期退学。

主な展覧会に、2006年「先間康博作品展“林檎 ニュートンもセザンヌも僕も”」ツァイト・フォト・サロン / 東京。2007年「Japan Caught Camera」上海美術館 / 中国。2008年「先間康博作品展“夜と林檎”」ギャラリー HAM / 名古屋 (以降、'10年'14年'16年'19年) など。

お申込み方法：お電話、e-mail、facebookより受け付けます。

tel 058-265-2336 (水～日 12:00-18:30・冬期休廊 12/28-1/14)

e-mail caption@mbe.nifty.com